

写真新世紀30年の軌跡展

写真ができること、写真でできたこと

写真新世紀

1991-2021

一般投票で選ばれた歴代受賞者10名による受賞作品展

青山 裕企／新堀 尚登／大森 寛己／奥山 由之／澤田 知子／高島 寛太／中村 ハルコ／堀川 真花／長谷波 ロビン／浜中 悠樹

【同時開催】2021年度グランプリ受賞者新作個展 賀来 庭辰

2022.10.16sun-11.13sun

10:00～18:00(水・金は20:00まで)
※毎週月曜日は休館日(月曜日が祝
日の場合は顺延し、翌平日休館)

東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

入場無料

歴代グランプリ／準グランプリ受賞者の受賞作品展

2022.10.13thu-11.22tue

10:00～17:30
※毎週日曜日・祝日は休館日

CANON GALLERY S

Canon

写真新世紀 30 年の軌跡展

写真ができること、写真でできたこと

「写真新世紀」は、写真表現の新たな可能性に挑戦する新人写真家の発掘・育成・支援を目的に銀塩写真をはじめ、現代美術やデジタルテクノロジーなど広範囲なメディアを取り入れた未知なる写真作品を推奨する公募展として、1991年にスタートしたキヤノンの文化支援プロジェクトです。「写真は平面芸術である」という概念を超える新しい芸術表現を切り開くため、作品のジャンル、手法、サイズ、点数等の制限のない自由な形式を取り入れ、世界的にもユニークな公募を推進して参りました。2015年からはカメラの進化に合わせて静止画・動画のデジタル作品も公募対象とし、カメラの進化に併せたプロジェクトの深化を試みるほか、グローバルに舵を切り、国際的に活躍される審査員を招聘してプロジェクトの質を高めるよう推進してまいりました。

発足時から延べ3万人を超える皆様にご応募をいただき、国内外で活躍する優秀な写真家を多数輩出し、「写真新世紀」は、新人写真家登竜門として広く認知が得られるまでに成長しています。昨年30周年を迎え、この節目をもって公募は終了しましたが、最後の公募となった2021年度第44回公募には、コロナ禍にありながら過去最多のご応募をいただきました。インターネット、スマートフォンなど、かつてのメディアとは異なる見せ方楽しみ方が横行する昨今ではありますが、写真表現に対する関心は非常に高いと感じています。

本年度は、「写真新世紀30年の軌跡展—写真ができること、写真でできたこと」を開催します。これまでの活動を総括する目的で東京都写真美術館（恵比寿）、キヤノンギャラリーS（品川）の2か所を連携して記念展を行います。

東京都写真美術館では、1,200人を超える歴代受賞者（グランプリ、優秀賞、佳作）から一般投票で選ばれた10名の受賞作品をご紹介します他、昨年度グランプリを受賞した賀来庭辰氏の新作を発表します。

またキヤノンギャラリーSでは、歴代グランプリ／準グランプリ受賞者の受賞作品で辿る写真新世紀30年の歩みをご紹介します。両展覧会では、出展者によるアーティスト・トークを開催するほか、歴代審査員、受賞者によるトークショーも企画しています。

この機会に写真界を牽引する作家に成長した、才能溢れる写真家たちの原点に触れる作品をご高覧いただき、今後の写真表現の新たな可能性について考察いただければと思います。それぞれの受賞者が、その時代時代に挑戦してきた新しい写真表現や、現代を見つめて創作してきた斬新な銀塩しに触れていただければと思います。

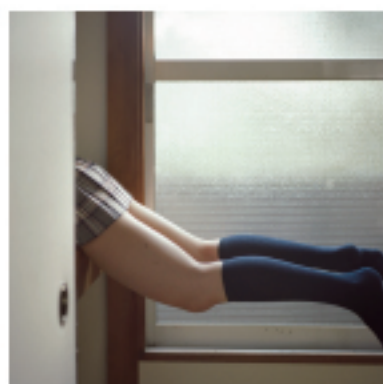


1992年に開催した
第1回の受賞作品展の様子

出展者

東京都写真美術館 会場

10.16sun-11.13sun



青山 裕企 (2007年優秀賞)
「UNDERCOVER」



新垣 尚香 (2006年優秀賞)
「TSURU」



大森 克己 (1994年優秀賞)
「GOOD TRIPS, BAD TRIPS」



奥山 由之 (2011年優秀賞)
「Girl」



澤田 知子 (2000年特別賞)
「ID400」



高島 空太 (2016年優秀賞)
「2016」



中村 ハルコ (2000年グランプリ)
「海からの贈り物」



長谷波 ロビン (2012年優秀賞)
「THE JAPANESE BEACH -SUMA-」



浜中 悠樹 (2012年優秀賞)
「樹々万葉」



蛸川 実花 (1996年優秀賞)
「Happiness Self Portrait 1996」

キヤノンギャラリー S 会場

10.13thu-11.22tue



木下伊織 (1992年)
「Jamaie-yu 未視感」



市川 綾子 (1993年)
「近づけなかった私」



熊谷 登司 (1994年)
「もりとでじゃねいろ」



ヒロミックス (1995年)
「SEVENTEEN GIRL DAYS」



野口 里佳 (1996年)
「潜る人」



矢島 慎一 (1997年)
「Bubble」



柏 画矢子 (1998年)
「極東新世界〜 Go to the End of East」



安村 崇 (1999年)
「日常らしさ」



中村 ハルコ (2000年)
「海からの贈り物」



吉岡 佐和子 (2002年)
「FLYING HIPPO」



内原 恭彦 (2003年)
「Raw life」



滝口 浩史 (2004年)
「狭間」



椎名 高代 (2004年)
「11」



小澤 聖希子 (2005年)
「A DAY [Woman of 30 years]」



高木 こづえ (2006年)
「insider」



黒澤 めぐみ (2007年)
「二重性派」



鮑間 のり子 (2007年)
「まばたき」



桑 雅則 (2008年)
「遊び言葉」



クロダ ミサト (2009年)
「He is-」



佐藤 華蓮 (2010年)
「だっぴがら」



赤鹿 麻耶 (2011年)
「風を食べる」



原田 要介 (2012年)
「世界するもの」



鈴木 育郎 (2013年)
「富・CONSTREQUIM」



須藤 美乃 (2014年)
「幻影-Gespenster-」



迫 鉄平 (2015年)
「Made of Stone」



金 サジ (2016年)
「物語」



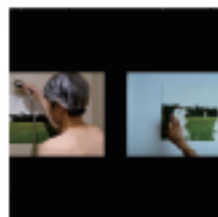
トロン・アンステン & ベンヤミン・プライトコフ (2017年)
「17 toner hvitt」



ソン・ニアン・アン (2018年)
「Hanging Heavy On My Eyes」



中村 智道 (2019年)
「煙のような」



樋口 誠也 (2020年)
「some things do not flow in the water」



賀末 慶展 (2021年)
「THE LAKE」

関連イベント

写真ができること、写真でできたこと

東京都写真美術館 会場

10.16sun.

アーティスト・トーク

一般投票で選ばれた歴代受賞者、及び2021年度グランプリ受賞者によるアーティスト・トーク

日時 10月16日(日) 15:00～17:30
会場 東京都写真美術館 1階ホール
定員 先着90名
入場料 無料
申込方法 事前予約制。申込方法は9月26日(月)「写真新世紀」ホームページに掲載します。

11.5sat.

大森 克己氏、佐内 正史氏、奥山 由之氏によるトークショー

大森 克己氏(1994年優秀賞/審査員)、佐内 正史氏(1995年優秀賞/審査員)、奥山 由之氏(2011年優秀賞)によるトークショー

日時 11月5日(土) 15:00～16:30
会場 東京都写真美術館 1階ホール
定員 先着90名
入場料 無料
申込方法 事前予約制。申込方法は9月26日(月)「写真新世紀」ホームページに掲載します。

キヤノンギャラリー S 会場

10.29sat.

歴代グランプリ/準グランプリ受賞者によるアーティスト・トーク

受賞作品展に出展する歴代グランプリ/準グランプリ受賞者(出演者調整中)のトークで写真新世紀30年を振り返ります

日時 10月29日(土) 13:30～(調整中)
会場 キヤノン S タワー 3階 キヤノンホール S
定員 先着100名
入場料 無料
申込方法 事前予約制。申込方法は9月26日(月)「写真新世紀」ホームページに掲載します。

11.6sun.

飯沢 耕太郎氏、南條 史生氏によるトークショー/ 野口 里佳氏による写真レクチャー

「写真・美術の現在と未来—写真新世紀を振り返って」

日時 11月6日(日) 第一部14:00～15:30/第二部16:00～17:30
内容 第一部
1991年の第1回公募から2009年の第32回公募まで審査員を務めた、飯沢 耕太郎氏(写真評論家)と南條 史生氏(美術評論家)のトークショー
第二部
1996年の第13回公募のグランプリ受賞者であり、2008年の第31回公募、2015年の第38回公募で審査員を務めた、野口 里佳氏(写真家)による写真レクチャー。これまでの自身の作品や歩みについて語ります。
※写真美術館2階展示室で野口氏の個展「野口里佳 不器用な力」が同時開催中。
詳細は東京都写真美術館ホームページをご確認ください。
会場 東京都写真美術館 1階ホール
定員 先着90名
無料 無料
申込方法 事前予約制。申込方法は9月26日(月)「写真新世紀」ホームページに掲載します。

11.13sun.

歴代受賞者によるスライド&トークショー

「もう一度聴いてみたい、見てみたい、あなたのプレゼンテーション」
歴代受賞者10名(調整中)による受賞作品および新作に関するスライド&トークショー

日時 11月13日(日) 15:00～17:30
会場 東京都写真美術館 1階ホール
定員 先着90名
入場料 無料
申込方法 事前予約制。申込方法は9月26日(月)「写真新世紀」ホームページに掲載します。

新型コロナウイルス感染症などの影響により、「写真新世紀30年の軌跡—写真ができること、写真でできたこと」および関連イベントの中止、または日時の変更や定員の調整などを行う可能性があります。最新情報については「写真新世紀」ホームページをご確認ください。

【お問い合わせ】キヤノン株式会社 写真新世紀事務局 〒146-8501 東京都大田区下丸子3-30-2 TEL:03-5482-3904 写真新世紀ホームページ: global.canon/ja/newcosmos

東京都写真美術館 会場

2021年度(第44回公募)グランプリ受賞者 新作個展

賀来 庭辰「夜」

春が終わり、夏が来るあいだの夜の記録。

友人に子どもが生まれると聞いた私は、その子が生まれるまでの夜を撮影した。

私が住む東京から、その子が生まれる土地へ移動しながら。

どこにでもある風景が、生まれてくる子どもに出会うまでの道のりとなる。

東京都写真美術館 会場

一般投票で選ばれた歴代受賞者10名による受賞作品展／2021年度グランプリ受賞者新作個展

10月16日(日)～11月13日(日) 10:00～18:00(木・金は20:00まで) ※毎週月曜日は休館日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌平日休館)

会場：東京都写真美術館 地下1階展示室 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 TEL 03-3280-0099

主催：キヤノン株式会社 共催：東京都写真美術館

東京都写真美術館

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

JR恵比寿駅東口より徒歩約7分

東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分
専用の駐車場はございません。お車でご来場
の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。



キヤノンギャラリー S 会場

歴代グランプリ／準グランプリ受賞者の受賞作品展

10月13日(木)～11月22日(火) 10:00～17:30 ※毎週日曜日・祝日は休館日

会場：キヤノンギャラリー S 東京都港区港南2-16-6 キヤノンSタワー 1階 TEL 03-6719-9021

主催：キヤノン株式会社 共催：キヤノンマーケティングジャパン株式会社

CANON GALLERY S

キヤノンギャラリー S は、デジタルイメージングの楽しさ、映像表現の無限の可能性を体感していただくためのアートスペースです。話題のアーティストによる作品展を順次開催して参ります。

JR品川駅港南口より徒歩約8分 京浜東北線品川駅より徒歩約10分

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

CANON S TOWER
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6
TEL. 03-6719-9021
canon.jp

